

コノミヤテラス

拠点名 | コノミヤテラス

事務局:コノミヤテラス運営研究会

〒586-0077 大阪府河内長野市南花台3丁目6-10 2F

✉ konomiya.terrace@gmail.com



大阪府河内長野市

阪急関大前駅から天下茶屋経由で南海三日市町駅へ。
南海バスに乗り換えて
南花台3丁目北徒歩から1分。



関谷 大志朗 Taishiro Sekiya

1990年生まれ。熊本県天草市出身。学部生の頃から丹波市の地域再生に取り組み、2015年、関西大学大学院理工学研究科建築学分野修士課程を修了(建築環境デザイン研究室)すると、南花台の地域コーディネーターに就任。中学時代はドラム、高校時代は吹奏楽部でコントラバスを担当するなど、音楽にも明るい。最近の趣味はPodcast配信。

大阪府河内長野市南花台地区にあるコノミヤテラスは、**産官学民まちづくり事業によって生まれたコミュニティ拠点**です。2015年のオープン以降、毎日のラジオ体操や生活支援の有償ボランティアチームの運営、子育て支援スペースの整備や運営などなど、**さまざまな活動を産官学民「協働」で行っています**。そんなコノミヤテラスで地域コーディネーターを務める関谷大志朗さんに、拠点について教えていただきました。

多世代交流を通して学ぶ「協働」の作法。 心と力を合わせて完遂する大きなプロジェクト

Field



官民産学が手を取り進む 先進的まちづくり

小高い丘を切り拓いてつくられた南花台は、空がとて広く感じたり、地区の境界線がとてはっきりしていたりという立地的特徴があります。まちびらきから40年が経ち、高齢化率は40%を超える一方で住民の意識がとて高く、行政や企業と連携して先進的な取り組みを多数展開中です。例えば、移動支援を目的に始まったグリーンスローモビリティ「クルクル」には、現在総勢100名程度の住民有志が運行に関わっています。コノミヤテラスがあるのは、南花台の中心部にあるスーパーマーケット「コノミヤ」の2階。買い物ついでに寄ってくれる人がたくさんいます。

Point 1. ハイテクとアナログのバランス感 多世代交流の意識で地道に積み上げてきた役割

コノミヤテラスに関わるプロジェクトは、規模が大きく関係者もさまざま。だからこそ、全員と心と力を合わせる「協働」が大切です。誰かを取りこぼさないよう心がけたところ、多世代交流という軸が生まれました。生活動線上という立地も相まって、今では住民のハブ的な役割を担っています。毎朝10時に行うラジオ体操には、そんな拠点の特長がよく現れますよ。ラジオ体操に参加した高齢者は子どもたちを可愛がり、子どもたちも、子どもの親もそれを見て嬉しそう。コノミヤテラスは、ハイテクな側面を持つまちですが、アナログな人と人との繋がりも大切にしているんですよ。



Point 2. プロジェクトの枠組みの中で考えるプロセス まずは協力を得られる関係性づくりを

多世代交流という前提と、各プロジェクトにおいてコノミヤテラスに与えられた課題とゴールは決まっていますが、プロセスまで決まっているわけではありません。「まずはやってみよう」のスタンスを大切に、枠組みの中でPDCAを回し、課題解決へと近づいていきます。ただ、何かをする際にはさまざまなカタチで地域の方の協力を得なければなりません。南花台では、活動を手伝ってくれそうな方はたくさんいますが、本当に手伝わ

てくれるかは築いてきた関係性次第。だから、拠点に関わる学生には、まずは協力を得られる関係性づくりに取り組んでもらいたいです。大学内ではなかなかできない経験ですが、きっと社会に出たときに役立つはず。幸い、南花台はそれを経験しやすいまちだと思います。



GO! コノミヤテラスへ行きたい!

「UR 南花台DIYプロジェクト」に参加しませんか?

URの空き住戸に若い世代を呼び込むことを目的に、設計から施工のDIYまでを実施するプロジェクトで広く学生を募集します。設計こそ建築学科の学生がメインになりますが、DIYは学部学年関係なく誰でも参加OK。最初の動機は「ものづくりへの興味」だったとしても、実際に関わってもらえば、きっとものづくり以外のコノミヤテラスの活動の幅広さや面白さを感じてもらえるはず。プロジェクトの過程で地域の方と交流する機会もあるので、人との交流が好きな方ならより楽しめると思いますよ。参加希望者は上記連絡先(メール)でご連絡ください。